



# オーストラリア直送レポート

**Vol.2**

2016.8.8 準備は整った！いざ初登校。

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林  
引率教諭：吉備中学校 西岡

●パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地  
引率教諭：白馬中学校 熊ノ郷

初登校の朝は、猛暑の日本とは違い、肌寒いくらいでした。

DMS（ドリップストーンスクール）で研修生を待っていると、ホストファミリーと一緒に研修生が登校してきたので、昨夜は何をして過ごしたのや何を食べたのか等を質問してみました。ホストファミリーと外食に出かけた話やその時の写真を見せてくれる研修生もいれば、少しホームシックになっている研修生や、わずか半日でオーストラリアにずっと居たいという研修生もいました。とにかく全員元気に登校してくれて何よりです。

1時間目はウェルカムパーティーです。ウェルカムパーティーが始まろうとするときに珍しいことが起こりました。それは、乾期のオーストラリアでのにわか雨です。これは何か凄いことが起こるかもしれないと思いました。そして、いよいよDMSの全校生徒の前で、約2ヶ月間練習してきたナンチュウソーランと英語での1分間スピーチです。英語での1分間スピーチは、研修生がスピーチするごとにDMSの生徒が拍手や歓声を上げてくれる盛り上がりでした。また、ナンチュウソーランを披露した後は一際大きな拍手と歓声が巻き起こりました。

2時間目以降は、8人1組で合計2組に分かれて授業を受けました。教科は、理科、数学、ダンス、柔道、日本語、体育でももちろん英語で進めていくので、研修生は身振り手振りや何





度も質問していました。印象に残っているのは、体育と柔道です。どちらも最初は、DMSの生徒ときちなかったのですが、次第に笑顔が溢れハイタッチをする研修生の姿がありました。こちらの授業は65分で、特に初日ということもあり座学関係の授業は長く感じたようです。

昼食は、サンドイッチやフルーツ、ケーキなど様々な食べ物を用意していただいたので、研修生は日本では

味わえない異国の食文化にまた一つ触れることができました。

昼食後は1時間、またそれぞれの授業を受けてDMSでの初日が終了しました。DMS学校の放課後は日本の放課後と異なります。生徒が掃除したり、クラブ活動もホームルームをしたりもしないので、授業が終わったら生徒や教諭はすぐに下校し、学校が静寂に包まれます。授業のスタイルも校内をつかったりし教室にとらわれていなかったり、廊下やフロアに友達同士で集まって調べ学習をしている子など、とっても自由な雰囲気でした。また、すれ違う生徒が気軽に話しかけてくれる等、DMSの先生方も日本から来た研修生に対する気遣いをいたるところで感じます。研修生は初日の緊張感からか少し遠慮しているところだったので、友好的で明るく積極的なDMS学校の雰囲気を感じて研修生が何かをあす以降学んでくれればと思います。(林)

1日目、少し肌寒い中、研修生16人全員体調を崩すことなく元気にドリップストーン校に登校できました。ホームステイ先のご家族の方ともみんなうまくやっていると安心して安心しました。

1時間目は、ドリップストーン校が主催してくれたウェルカムパーティーでした。みんな緊張していた様子でしたが、全校生徒の前で堂々と英語での自己紹介、ソーラン節の踊りを披露することができました。ソーラン節を披露した後の、拍手と歓声はものすごいもので、感動しました。今日までの事前研修、早朝練習を頑張った成果がでました。みんな本当によく頑張ったと思います。

2時間目以降は、2組に分かれて現地の授業を体験しました。いつもとは違う65分の授業で、それが英語での授業ともあり、みんな必死に授業に取り組んでいました。さすがに疲れたのか、すべての授業を終えた後はみんなぐったりし、疲れた様子でした。徐々に慣れてきて、もっと授業中での笑顔が増えてほしいと思います。

学校が終わったあとは、みんなホストファミリーとともに仲良く帰っていき、何事もなく、無事に1日目を終えました。明日も今日と同じように現地の授業を受ける予定になっています。あすのみんなの活躍に期待したいと思います。(西岡)

パーマストーン班（パーマストーン校・ローズベリー校グループ）の研修生は、初登校に緊張しながら集まってくると思いきや、それぞれがホストファミリーでの過ごし方を報告し合う元気な集合でした。耳を傾けてみると、文化の違いを感じながらもみんなホストファミリーに歓迎してもらえたことが伝わってきました。



初登校ということもあって、全校集会で1 minutes speech（自己紹介）をしました。現地の生徒達は校内放送を聞いてゾロゾロと集合し、各々フロアへ座り込む感じで、私自信も日本の学生達との雰囲気の違いに少し驚きました。研修生達も日本とは違う雰囲気に少しとまどっている様子でしたが、speechを始めると静かに聞いてくれて大きな拍手をしてくれました。そのおかげもあって、みんな今までで一番大きな声でスラスラと発表できました。

その後、現地のクラスに参加させていただきました。日本語クラスでは、現地生徒が日本の文化に関するアンケートを日本語でしてくれました。教室にも見慣れた文字（日本語）のポスターなどがあり、少し安心して授業へと入っていく、いいきっかけになりました。

休憩時には、現地の生徒達と共にバレーやバスケットをする研修生達もいて、いろいろな形で交流することができていました。その後は、音楽、理科、体育と授業を受けました。現地生徒とともに演奏したり、実験したりと和やかな雰囲気でデスチャーを交えながらコミュニケーションをとる研修生達は、事前研修時から大きく成長していると感じました。この様子なら、これからの2週間がとてもいい経験になることと実感できる1日でした。（宮地）

金屋、清水グループ（パーマストーン校・ローズベリー校グループ）の子供達は、事前研修でしかお互い会うことのない子もいて、みんな仲良くできるかなーと心配でしたが、関空行きのバスの中、みんな楽しそうに話している姿を見て、「この子達なら大丈夫」と思いました。その予想どおり、みんな元気にダーウィン空港に到着し、今朝全員パーマストーン校に登校しました。

朝の全校集会では、練習した以上にすらすらと自己紹介のスピーチをし、その後の授業も楽しく受けることができました。休憩時には、パーマストンの生徒達とスポーツをしたり、おしゃべりをしたりもしていました。

日本の子供達は、静かに話を聞くことは出来るのですが、自分から質問をしたり、アクションを起こしたりということには、少し課題があるように感じます。間違ってもいい、失敗してもいい、まずは自分から行動し、そこから学び、また次の挑戦につなげていく。この二週間でそんなふう成長してくれたらいいなと思います。（熊ノ郷）

